

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年2月13日 (火)

NO. 833号 本号3頁

憲法守り、生かす社会つくろう

「建国記念の日」反対集会 東京でも開催！

「建国記念の日」に反対し、憲法を生かす日本と世界をつくろうと「歴史に学び憲法生きる 日本と世界を切り開く 『建国記念の日』反対2018年2・11集会」が11日、日本橋公会堂で開催されました。憲法会議と歴史教育研究者協議会等の歴史研究団体などでつくる「『建国記念の日』に反対し思想・信教の自由を守る連絡会」の主催で、約260人が参加しました。

また、この日、同様の集会が、全国各地で開催されました。

はじめに、歴史学研究会の小沢弘明氏が開会あいさつを行い、その後、専修大学教授の田中正敬氏、日本平和委員会常任理事の川田忠明氏が講演しました。

田中氏は、関東大震災の朝鮮人犠牲者の追悼式に毎年送ってきた追悼文を昨年、小池都知事が送付しなかった問題を解説し、追悼文とりやめが朝鮮人虐殺を正当化する勢力の主張を容認したものだとして批判し、「虐殺の隠ぺいを図る動きを許さないために、大震災で起きた事実を声に出して訴えていくことが大事だ」と話しました。

また、川田氏は冒頭で、世界の国々が「何をもって建国の記念としているか」について報告し、法律で定められた記念日・祝日などがある国が123カ国。そのうち、独立や民族解放が74カ国、革命や体制移行が16カ国、その他が13カ国で圧倒的多数が近代主権国の確立を建国の記念日としており、神話は日本だけであると指摘しました。この部分のお話は朝日新聞でも紹介されていましたが、歴史的に考えても異様な日本の「建国記念の日」について改めて考えさせられました。

その後、川田氏は核兵器禁止条約の締結など、世界で平和を求める流れが進展する一方、北朝鮮問題で対話を放棄し軍事的圧力を強める安倍政権の危険性を指摘。「名もなき市民の行動が日本と世界を変える原動力となっている。諦めずに声を上げ、安倍改憲から9条を守ろう」と述べました。

その後、3人がリレートーク。一橋大学大学院生の元山仁士郎氏は元SEALDsを立ち上げた沖縄出身の青年ですが、「沖縄と天皇制と基地」とのテーマで沖縄の基地問題を報告しました。次に、元社会科の教員だった歴史教育者協議会の桜井千恵美氏が「安倍『教育改革』で社会教科書はどう変わったか」とのテーマで、具体的な教科書の変遷を紹介しながら報告しました。そして、憲法会議の代表幹事であり、子どもと教科書全国ネット21の石山久男氏が「大学での教員養成で今おこっていること」とのテーマで、教員養成の問題で指摘しました。

3人のリレートークの後、田中氏と川田氏が、参加者から出された質問・意に答えながら、まとめの発言を行いました。

そして、集会の最後に、新日本婦人の会油原通江氏が、「憲法の理念が生きる社会を創り出して行きましょう」と呼びかけた集会アピールを提案し、参加者の拍手で採択しました。



仙台市で「2・11 信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会」が開催される！

各地でも「建国記念の日」に反対する「2・11 集会」が開催され、安倍9条改憲に反対する共同の声をあげました。各地の集会でも、憲法学者、元外交官など各界の人たちが、海外で無制限な武力行使に道を開くことになると、安倍9条改憲の危険を語りました。

仙台市の集会では、「2・11 信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会」が「靖国神社国家管理反対宮城県連絡会議」の主催で、仙台国際センター大ホールで開催されました。青井未帆・学習院大教授が「憲法軽視という危機～私たちに何ができるか～」とのテーマで講演し、『武力解決が許される』となったら、9条の意味はなくなり『平和国家』のブランドもなくなる」と指摘しました。

広島市では、孫崎享・元外務省国際情報局長が、北朝鮮問題で軍事対応をことさらあおる安倍政権を批判し、「対話での解決への努力を。『核の傘』やミサイル防衛で国は守れない」と訴えました。

山口市での集会では、高山佳奈子・京都大学教授が「政治的な立場は違っても、真実を知りたい気持ち、だまされることへの怒りは全ての人が共有できる」と憲法の中身を知らせようと呼びかけました。

奈良市の集会では、「安保関連法に反対するママの会」発起人の西郷南海子さんが、『戦争の理由や道具をつくる』のも私たちなら、『戦争をやめる』のも私たちだと、前向きな言葉を伝えていこう」と語りました。



写真 奈良の集会の様子

各地のとくみ

兵庫 全国3千万・兵庫140万署名の運動が県内にひろがる！

☆新しい伊丹の「9条考える会」が学習会

2月3日、「こやのさとの会」「さきはらの会」が共同センター津川知久代表を囲んで憲法を語り3千万署名の熱い討論を行いました。「若い人は9条の値打ち、9条そのものを知らない・自分の生活と関係ないと思っているので、『9条に自衛隊が明記されると日本はこうなる』の部分をもっと深めたらいいのでは」「伊丹ではいま若い親が手を結んで公立保育・幼稚園の再編問題で600筆もの署名が集まったが、3000万人署名でも『自分のこどもたちを守る』ということでは9条改定問題もおなじだと思う」等の意見が出されました。

「こやのさと9条を考える会」は独自の署名用紙を作り全戸配布、9軒の回収ポスト先＝個人宅も明記して頑張っている。「災害救助でお世話になった自衛隊員が、日本防衛に関係ない海外の戦場で殺されるのは許せない」という趣旨の文言も署名用紙に加えて欲しい・等の意見も出されました。

☆須磨区で諸団体共同で行動学習会

1月27日、妙法寺の集会所に「9条の会連絡会」「3千万署名・須磨」合同で木下智史関大教授を囲んで“実践”討論を行いました。参加者から「安倍9条壊憲が発議されるとメディアは一色になる」「北朝鮮問題をどう話するか」「良いキャッチフレーズを考えよう」など熱心な意見がいっぱい。「近所で100筆集めたがじっくり話し合うことが大事」との発言に元気を貰いました。

《壊憲阻止・戦争法等廃止・野党共闘・原発・行動案内》

※ 2/19(月)11:00 [川西アステ前] 宣伝署名 ※ 2/19(月)18:00 [神戸大丸前] 宣伝署名

(憲法改悪ストップ兵庫県共同センター週刊ニュースより)

東京・茗荷谷 憲法会議も参加して「9の日宣伝」

憲法共同センターの呼びかけで2月9日、3000万人署名を呼びかける「9の日宣伝」が都内9カ所で行われました。丸ノ内線の茗荷谷駅前では、12時15分から13時まで14人（農民連1人・憲法会議2人・新婦人11人）が参加して行われました。各団体の代表が、ハンドマイクで駅前を通る人々に署名を訴えるとともに、新婦人の仲間がシール投票にとりくみました。45分間のとりくみでしたが、署名は3000万人署名が11人、ヒバクシャ署名が6人集まりました。

海外在住（日本）のベビーカーママは、「海外に住んでいると日本のおかしさがわかる。核兵器禁止条約に参加すべき」と署名をしてくれました。また、中学生の2人組は「9条に書き込むと自

衛隊は海外へ行くことになる。塾で教わった。父に署名すると言われていたけど・・・」と言いながら署名してくれました。さらに、80代女性は「戦中派なので、9条改憲とんでもない。戦争はダメ」、70代女性は「とにかく安倍に怒っている」、そして20代男性（名古屋から出張）はシール投票で、「自衛隊を書き込んだら憲法が変わると」等と話しました。

憲法会議 春の憲法講座

—9条改憲ストップ、生かそう憲法 ぐらしに政治に！—

安倍政権は通常国会での改憲発議をめざし、予算成立後に憲法審査会に憲法改正案を提出する方針で、党内での意見の取りまとめをすすめています。日本国憲法が最大の危機を迎えようとしています。一方で、国民の改憲阻止に向けたたたかいは燎原の火のように全国に広がっています。戦争法・共謀罪法反対、衆院選をたたかった市民の共闘、市民と野党の共闘が発展し、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」（3000万人署名）に取り組んでいます。共闘と連帯をさらにひろげ、その力で安倍9条改憲許さず、憲法が生きる憲法どおりの日本の社会と政治を実現しようではありませんか。今年の「春の憲法講座」です。学びあい、知恵と力を3000万人署名に！

*講座・講演 愛敬浩二 名古屋大学大学院法学研究科教授

「安倍9条改憲でどう変わるか」



*国会報告 穀田恵二 日本共産党国会対策委員長・衆院議員

「安倍暴走政治を許さない—国政を語る」



- と き 2018年3月4日(日)
午前10時00分～12時30分(9時30分開場)
- と ころ 全国教育文化会館 7F
千代田区二番町12-1 TEL 03-5210-3511
- 資 料 代 1000円(学生500円)
当日会場でいただきます。
- 主 催 憲法会議(憲法改憲阻止各界連絡会議)
- 協 賛 神奈川憲法会議/埼玉憲法会議/
千葉県憲法会議/東京憲法会議



*事前お申し込みをお願いいたします。下記へご連絡ください。
(定員まで受け付けます。締め切りはホームページでお知らせします。)

◆申し込み・連絡先◆

憲法会議

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10
神保町マンション202
TEL03-3261-9007 FAX03-3261-5453
Eメール: mail@kenpoukai.jp

● 憲法講座受講申し込み書 ●

氏名	住所	電話	ファックス	メールアドレス